

日本語特論初級I-I
Elementary Japanese 1-1

演習 1単位 1学期

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

Nihongo Junbushitsu 8300
knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

- (1) To develop the ability to communicate in daily life
- (2) To develop the ability to study the majors of each student by learning academic and technical Japanese
- (3) To develop the ability to learn Japanese independently.
- (4) To develop the ability to assimilate Japanese community and university through experiencing a variety of cultural and social programs

【授業キーワード】

elementary level, survival Japanese

【授業内容及び授業方法】

This class is for the foreign students who have no or some proficiency of Japanese. The students will study Hiragana & Katakana first, and will develop communicative ability through learning basic Japanese expressions.

【授業項目】

1. hiragana/katakana
2. Introducing oneself, Greetings
3. Daily expressions
4. Describing Daily activities
5. Time expressions
6. Possession, Existence
7. Agreeing and Disagreeing
8. Request, Permission, prohibition
9. Casual conversation
10. Expressions in Other Languages
11. Conditions, reverse conditions
12. Confirmation, Explanation, Information
13. Change of State
14. Opinions, Quotations
15. Exam

【教科書】

Basic Japanese for Students, HAKASE

【成績の評価方法と評価項目】

Quiz 30%
Exam 35% (2 times)

日本語特論初級I-II
Elementary Japanese 1-2

演習 1単位 2学期

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505室
#505, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

The purpose of this class is to develop a survival-level of proficiency in the language skills of speaking and listening. The goals of these skills are as follows.

Speaking and listening skills: being able to carry out basic conversation with topics about everyday life and students' interests at the survival level.

【授業キーワード】

elementary level, survival Japanese

【授業内容及び授業方法】

This class is for the foreign students who have no or some proficiency of Japanese. The students will study Hiragana & Katakana first, and will develop communicative ability through learning basic Japanese expressions.

【授業項目】

1. Hiragana/Katakana
2. Introducing Oneself, Greetings
3. Daily Expressions
4. Describing Daily Activities
5. Time Expressions
6. Possession, Existence
7. Agreeing and Disagreeing
8. Request, Permission, Prohibition
9. Casual Conversation
10. Expressions in Other Languages
11. Conditions, Reverse conditions
12. Confirmation, Explanation, Information
13. Change of State
14. Opinions, Quotations
15. Examination

【教科書】

“Basic Japanese for Students, HAKASE”

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on vocabulary quizzes(30%) and final examination(70%).

【留意事項】

This course is designed for students who have little or no knowledge of Japanese.

日本語特論初級II-I
Elementary Japanese 2-1

演習 1単位 1学期

【担当教員】

松田 真希子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟203

【授業目的及び達成目標】

毎日の生活でひつような日本語を勉強します。このクラスで日本語を勉強すると、かんたんな日本語で日本人と話すことができます。そしてひとりで買い物したり、旅行したりすることができます。

【授業キーワード】

Basic Japanese, Speaking, Listening, For elementary-mid or Elementary-high level
初級日本語、会話と聴解、初級後半向き

【授業内容及び授業方法】

- 1 新しいことばの勉強
- 2 新しいぶんぼうの勉強
- 3 新しいことばやぶんぼうを使って話したり聞いたりする練習

【授業項目】

1. Review Lesson1-25
2. L26
3. L27,28
4. L29
5. L30
6. L31,32
7. L33,34
8. L35,36
9. L37,38
10. L39,40
11. L41,42
12. L43,44
13. L45,46
14. L47,48
15. Exam

【教科書】

「みんなの日本語初級II」スリーエーネットワーク

【参考書】

しりょうをくばります

【成績の評価方法と評価項目】

Midterm Exam (40%)、Final Exam (60%)

【担当教員】

松田 真希子

【教員室または連絡先】

Nihongo Junbishitsu 8300
matsuda@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

毎日の生活でひつような日本語を勉強します。このクラスで日本語を勉強すると、かんたんな日本語で日本人と話すことができます。そしてひとりで買い物したり、旅行したりすることができます。

【授業キーワード】

Basic Japanese, Speaking, Listening, For elementary-mid or Elementary-high level
初級日本語、会話と聴解、初級後半向き

【授業内容及び授業方法】

- 1 新しいことばの勉強
- 2 新しいぶんぼうの勉強
- 3 新しいことばやぶんぼうを使って話したり聞いたりする練習

【授業項目】

1. Review Lesson1-25
2. L26
3. L27,28
4. L29
5. L30
6. L31,32
7. L33,34
8. L35,36
9. L37,38
10. L39,40
11. L41,42
12. L43,44
13. L45,46
14. L47,48
15. Exam

【教科書】

「みんなの日本語初級II」スリーエーネットワーク

【参考書】

しりょうをくばります

【成績の評価方法と評価項目】

Midterm Exam (40%)、Final Exam (60%)

日本語特論中級I-I
Intermediate Japanese 1-1

演習 1単位 1学期

【担当教員】

柴崎 秀子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟508

【授業目的及び達成目標】

主に基本的な読解力と聴解力の養成を目的とし、
日本語能力試験2、3級レベルを目標とする。

【授業キーワード】

漢字熟語、文末表現、言い換え、聴解ストラテジー、テキストの論理的
的分析

【授業内容及び授業方法】

日本語能力試験2、3級レベルの問題を主要な教材として、出題に関
わる知識を幅広く解説する。

【授業項目】

第1週 間違いやすい漢字及び漢字熟語の正確な読み方・書き方
第2週 同上
第3週 語彙の増強と文脈における適切な使い方
第4週 同上
第5週 敬語
第6週 敬語
第7週 様々な文末表現
第8週 様々な文末表現
第9週 同義文による表現力の充実
第10週 会話におけるキーワードの聴解
第11週 会話における主旨の聴解
第12週 同上
第13週 長文の読解
第14週 同上
第15週 同上

【教科書】

教員が教材を用意する

【参考書】

授業中に指定する

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト6回(計60%)授業に参加する積極性(10%)、期末テスト(30%)

【留意事項】

出席重視

【担当教員】

松田 真希子

【教員室または連絡先】

Nihongo Junbushitsu TEL 8300
matsuda@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

主に日本語の基本的な読解力と聴解力を養成する。具体的には資料と音声情報から与えられた情報を複合的に処理する能力を養成し、日本語での大学生活における問題解決能力の向上をはかる。

【授業キーワード】

聴解・読解

【授業内容及び授業方法】

資料と音声情報が相補的に提供される聴読解問題を提供し、受講者は資料と音声情報を照合しながら問題解決を行う。トピックは基本的に科学技術に関する一般教養的な内容のものから選択する。

授業の流れ

前回の問題に基づく小テスト→聴読解問題挑戦→回答→話し合い→スクリプトチェック→語彙・表現の学習→ディクテーション→理解した内容の要約、説明

【授業項目】

- 第1週 オリエンテーション、レベルチェック
- 第2週 掲示に基づいたキャンパス日本語の理解
- 第3週 掲示に基づいたキャンパス日本語の理解
- 第4週 画像等に基づいたニュースの理解
- 第5週 画像等に基づいたニュースの理解
- 第6週 グラフ、資料等に基づいたニュースの理解
- 第7週 グラフに基づいたディスカッションの理解
- 第8週 グラフに基づいたディスカッションの理解
- 第9週 新聞記事に基づいたディスカッションの理解
- 第10週 新聞記事に基づいたディスカッションの理解
- 第11週 レジюмеに基づいた口頭発表の理解
- 第12週 レジюмеに基づいた口頭発表の理解
- 第13週 板書に基づいた講義の理解
- 第14週 板書に基づいた講義の理解
- 第15週 最終試験

【教科書】

教員が教材を用意する

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト(30%) 期末テスト(70%)

【留意事項】

日本語レベルが中級一中程度の学生を対象とする

日本語特論中級II-I
Intermediate Japanese 2-1

演習 1単位 1学期

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505室
#505, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

初級レベルの日本語のクラスを修了したからといって、学習した全ての単語を記憶していたり、実際に使えたりするわけではない。そこで、本クラスでは既に学習した単語を復習し、それと関連づけながら新しい単語を学習することで、中級レベルの基礎作りを行う。

The aim of the course is to review Japanese basic vocabulary, expand your vocabulary and integrate words into your memory effectively. You can develop your vocabulary at the level of intermediate-low.

【授業キーワード】

単語、語彙、初級、中級基礎
vocabulary, elementary, intermediate-low

【授業内容及び授業方法】

初級で学習した単語を復習する。その際、単語間の関係性を捉える練習を行う。既習単語に関連した新しい単語を導入、練習する。

We review basic vocabulary using drills which develop the network between words, introduce new words which have some relationship with words you already know and perform tasks for vocabulary building.

【授業項目】

1. クラスガイダンス、能力確認 Guidance, level check test
2. 大学生活に関わる語彙(5回) Vocabulary in Campus Life
3. 日常生活に関わる語彙(5回) Vocabulary in Daily Life
4. 健康に関わる語彙(3回) Vocabulary in Health
5. 期末試験(1回) Final Examination

【教科書】

「漢字・語彙が弱いあなたへ」凡人社、「ペアで覚えるいろいろなことば」武蔵野書院
"Kanji/Goi ga yowai anata e" Bonjinsha.
"Pair de oboeru iroiro na kotoba" Musashino-shoin.

【成績の評価方法と評価項目】

単語テスト(30%)と期末試験(70%)により評価する。
Assessment will be based on vocabulary quizzes(30%) and final examination(70%).

【留意事項】

初級修了者を対象とする。
This course is designed for those who have finished the elementary level of Japanese.

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

講義棟 日本語準備室
knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

中上級レベルの読解演習(漢字学習を含む)。上級レベルへの橋渡しとして、特に読む技能の向上を目指す。

【授業キーワード】

中上級、読解、漢字、語彙

【授業内容及び授業方法】

1.語彙の学習 2.読解 3.資料の収集 4.意見交換 5.漢字表の作成

【授業項目】

＜テーマ＞

1. 時間
2. 再生資源
3. 仮想現実
4. 新素材
5. 宇宙

【教科書】

プリントを使用する

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト30%、課題提出20%、期末試験50%

【留意事項】

日本語能力試験2級合格以上の能力のある者の受講が望ましい。
受講する学生の構成によっては、計画を変更する可能性がある。

【担当教員】

松田 真希子

【教員室または連絡先】

Nihongo Junbishitsu TEL 8300
matsuda@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

日本語によるレポート作成や口頭発表のための基礎的な表現技術を身につける。

【授業キーワード】

レポート作成、口頭発表、ピア・レスポンス

【授業内容及び授業方法】

資料・情報の収集、分類・検討を行い、自分の立場を明確にしたうえで、反論を踏まえ、論理的に文章を展開する論証型のレポートを完成し、それに基づいて口頭発表を行う。

受講者同士が話し合いを通じて協力的に学習を行うピア(仲間)・レスポンスの方法をとる。

【授業項目】

1. オリエンテーション
2. レポートの形を知り、アイデアを練る
3. 構想を練り、情報を調べる
4. テーマを絞り込み、目標を規定する
5. 文章を組み立てる
6. 組み立てを再検討する
7. パラグラフを書く
8. 基本的な作文技術(文体、文法)
9. 本文を書き込んでいく
10. 引用しながら書く
11. 文章・表現・形式を点検する
12. 発表を準備する
13. 口頭発表1
14. 口頭発表2
15. フィードバック

【教科書】

資料を配布

【参考書】

『ピアで学ぶ大学生の日本語表現』
『理科系の論文作法』
『大学・大学院留学生の日本語 4論文作成編』
『技術者・学生のためのテクニカル・ライティング』

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小レポート提出(全13回×6) 78点
口頭発表 22点

【留意事項】

日本語能力中級一中程度の学生を対象とする

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

講義棟 日本語準備室
knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

本学の講義を聴いてノートを取ることができる日本語能力の習得を目指す。

【授業キーワード】

聞き取り、聴解、テープ、ディクテーション

【授業内容及び授業方法】

基本的な聴解のポイントの解説、聴解技術の習得訓練、実践的な場面を設定しての練習を行う。

【授業項目】

1. 縮約形
2. 音変化(母音脱落等)
3. 文末表現
4. 音調

以上の項目を含む音声テープ、VTR等を視聴し、聴解技術の習得をはかる。

【教科書】

配布資料

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト30%、課題提出20%、期末試験50%

【留意事項】

最初の授業に録音用カセットテープ(60分)を持参すること。
受講する学生の構成によっては、計画を変更する可能性がある。

【担当教員】

栄 隆士

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟226室(内線9853)

メールアドレス:tsakae@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

主に基本的な読解力と聴解力の養成を目的とし、日本語能力試験2級レベルを目標とする。

【授業キーワード】

漢字熟語、基本的文法、言い換え、文末表現、聴解ストラテジー、テキストの論理的分析

【授業内容及び授業方法】

受講者が内容に興味をもてるショートショート的な読み物の読解を通して、以下の授業項目を導入する。

【授業項目】

第1週 間違いやすい漢字及び漢字熟語の正確な読み方・書き方

第2週 同上

第3週 語彙の増強と文脈における適切な使い方

第4週 同上

第5週 助詞

第6週 副詞

第7週「やりもらい」表現

第8週 様々な文末表現

第9週 様々な文末表現

第10週 同義文による表現力の充実

第11週 聴解ストラテジー

第12週 同上

第13週 長文の読解

第14週 同上

第15週 同上

【教科書】

教員が教材を用意する

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト3回(45%)、期末テスト(30%)、出席と授業での積極性(25%)

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

講義棟 日本語準備室
knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

中上級レベルの総合的な演習。上級レベルへの橋渡しとして、4技能(聴く、読む、話す、書く)を総合的に向上させる。

【授業キーワード】

中上級、総合演習、資料収集、議論

【授業内容及び授業方法】

1.語彙の学習 2.ニュースを聞く 3.本文の読解 4.文法項目の学習 5.短作文
6.資料の収集 7.資料に基づいて自分の意見をまとめる 8.議論 10.まとめ

【授業項目】

<テーマ>

1. 理想のエネルギー原子力(世界と日本の原子力発電)
2. 顔をなくしたふるさと(地域の活性化)
3. カメラを持った語り部(AIDSと人権)
4. ほんものの豊かさ(日本の若者)

<学習する表現>

- ・～ざるを得ない ・～てからというもの ・～ばかりか ・～うものなら
- ・～てならない ・ついでに ・～といい、～といい ・～上で ～(た)きり
- ・～にしては ・～なり など

【教科書】

毎回プリントを配布し、使用する。

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト30%、課題提出20%、期末試験50%

【留意事項】

日本語能力試験2級合格以上の能力のある者の受講が望ましい。
受講する学生の構成によっては、計画を変更する可能性がある。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505室

【授業目的及び達成目標】

目的

科学技術関係の文章の読解能力の養成を目的とする。

達成目標

科学技術関係の文章(800字～1000字)の文章構造、文章の展開方法、文章内容が理解でき、内容について議論できること。

【授業キーワード】

読解能力、記述説明能力、口頭発表能力

【授業内容及び授業方法】

科学技術関係の記事の元テキストと振り仮名付きテキスト、単語表、ワークシートなどの配布資料を用いて、ペアワーク、グループワークなどの諸活動を行いながら授業を進めていく。

・各回の授業を上記の方法で、小テスト→科学技術関係の記事の読解作業という流れで行う。

・読解作業においては、ローカルな読みとグローバルな読みを行う。

・ローカルな読みでは、文字、語彙、文法項目の教授を行う。

・グローバルな読みでは、文章構造と文章の展開法の把握、キーとなる単語への注目、プラス評価語とマイナス評価語への注目などの読解ストラテジーの教授を行う。以上によりテキストに書かれた情報を既有知識により統合し、深い読みの処理を促進する。

・最終の授業で期末試験を実施する。

【授業項目】

1. クラスガイダンス、能力確認
2. 「超高強度コンクリで新技術」
3. 「世界最強の金属ガラス」
4. 「安全で快適な自動ドア」
5. 「人型跳ね起きロボット」
6. 「脳から信号、ロボットアーム操作」
7. 「ペット型ロボット」
8. 「運転中の携帯電話」
9. 「のぞき見を防ぐ画面用特殊フィルター」
10. 「痛くない注射」
11. 「光で自在に曲がるプラスチック膜」
12. 「10マイクロ以下の水晶薄膜」
13. 「電磁波で封筒の禁止薬物を透視」
14. 「ユニボールシグノ」
15. 期末試験

【教科書】

なし。資料を授業で配布する。

【成績の評価方法と評価項目】

各回の課題提出40%、期末試験60%の割合で成績評価を行う。

【留意事項】

中級の中レベル以上の日本語能力の学習者を対象とする。

【担当教員】

栄 隆士

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟226室(内線9853)

メールアドレス:tsakae@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

科学技術と密接に関わりながら革新的、個性的な経営をしている企業に関するテキストを読み、もの作り企業の経営戦略の一端を理解できるようにする。これにより、留学生が、日本の技術だけでなく、企業経営にも視野を広げ、指導的技術者として生きるモチベーションを養う。

【授業キーワード】

技術・科学分野における語彙、表現

スラッシュ・リーディング

パラグラフ・レベルでのサマリー

テキスト構造の分析

テキストのサマリー

先進的な企業経営

ディスカッション

【授業内容及び授業方法】

新聞記事などを主な教材として、主に地元・新潟における特徴のある中小企業(主に第二次産業)をとりあげ、技術と経営の関わりについて考える。上記キーワードに沿って理解を促進し、テキストのトピックについて、受講生のディスカッションも促す。

【授業項目】

第1週 日本的の企業経営の特徴と変化

第2週 テニスラケット、ヨネックス(長岡市)

第3週 アウトドア用品、スノーピーク社(三条市)

第4週 ヨーグルト、ヤスダヨーグルト(阿賀野市)

第5週 石油ヒーター、ダイニチ工業(白根市)

第6週 セキュリティー、セコム上信越(新潟市)

第7週 寝具製造、伊藤商店(新発田市)

第8週 歯科医療法人、徳真会(新潟市)

第9週 住宅設備、コロナ(三条市)

第10週 作業工具、トップ工業(三条市)

第11週 はさみ、諏訪田製作所(栄町)

第12週 清酒、朝日山酒造(長岡市)

第13週 ワイナリー、欧州ぶどう栽培研究所(新潟市)

第14週 スーパー、原信(長岡市)

第15週 プレゼンテーション「技術を生かす経営戦略」

【教科書】

教員が教材を用意する。

【成績の評価方法と評価項目】

テスト3回(45%)、期末プレゼンテーション&課題レポート(30%)

出席と授業における積極性(25%)

【担当教員】

柴崎 秀子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟508

【授業目的及び達成目標】

技術・科学に関するテキストの読解力を養うとともに、技術開発へのモチベーションを高めることを目的とする。技術・科学開発に関わる日本語テキストが理解できるようにする。

【授業キーワード】

技術・科学分野における語彙・表現、スラッシュ・リーディング、パラグラフ・レベルでのサマリー、テキスト構造の分析、テキストのサマリー、ディスカッション、技術開発へのモチベーションの養成

【授業内容及び授業方法】

新技術実現に関わる日本語テキストを主な教材として、上記キーワードに沿って理解を促進していく。テキストのトピックについて、受講生のディスカッションも促す。

【授業項目】

第1週 技術開発に取り組む心構え
第2週 同上
第3週 交通技術
第4週 同上
第5週 土木技術
第6週 同上
第7週 通信技術
第8週 同上
第9週 医療技術
第10週 同上
第11週 ロボット技術
第12週 同上
第13週 環境問題に取り組む技術
第14週 同上
第15週 プレゼンテーション「技術開発に取り組む心構え」

【教科書】

教員が教材を用意する。

【成績の評価方法と評価項目】

小テストまたは小レポート5回(50%)、授業における積極性(20%)、期末レポートとプレゼンテーション(30%)

【留意事項】

出席重視

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟505室

【授業目的及び達成目標】

- 1) ディベートによる情報収集・分析・討論を通じて日本の政治・社会・経済・文化に関する話題や日本と外国に関わる様々な問題に関して理解を深める。
- 2) 同時にディベートによって、客観的分析力・論理的思考力、相手の意見を聞く能力と日本語による討論能力の向上を達成する。

【授業キーワード】

ディベート、討論能力、分析能力、情報収集、文章作成

【授業内容及び授業方法】

まず、スピーチ練習を通じて制限時間内における自分自身の話すスピードと話せる量を把握する。これは人前における発表の基礎となるものである。次に、ディベートを構成するパート(立論、質問、反論)ごとに練習を行った後、グループごとに資料収集・分析作業を行い、ディベートによる討論を行う。

【授業項目】

1. スピーチの基礎(2回)
1分間スピーチ、3分間スピーチ
2. ディベートの基礎(2回)
ディベートとは、ディベートのルールと構成、立論・尋問・反駁の方法、審査方法、レポート作成法
3. ディベートによる討論(11回)
チーム編成、論題の設定、資料収集、分析・議論の組立、ディベートによる試合、評価、レポートの作成

【成績の評価方法と評価項目】

レポート(50%)と発表(50%)により評価する。

【留意事項】

上級レベルの学習者を対象とする。

【担当教員】

栄 隆士

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報系1号棟226室(内線9853)
メールアドレス:tsakae@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

日本についての基本的な知識を身につけさせ、日本と日本人を理解するための基礎力を養う。また、留学生が母国や世界をより客観的に受け止められるように広い視野を養う。

【授業キーワード】

日本社会、日本人、異文化比較、ディスカッション

【授業内容及び授業方法】

日本の社会の主要な分野をトピックとしてとりあげる。即ち、日本社会の主要分野についての基本的なデータを学生に提供し、その背景を説明する。さらに、日本社会の具体的な現象をどう解釈するかについて、ディスカッション促す。ディスカッションには、留学生の母国と比較する視点を積極的に取入れる。

【授業項目】

第1週 歴史
第2週 政治、行政
第3週 憲法、皇室、自衛隊
第4週 女性、家族、少子化、高齢化、福祉
第5週 教育
第6週 経済
第7週 企業
第8週 企業見学
第9週 グローバル化
第10週 交通システム
第11週 犯罪
第12週 マスコミ
第13週 みぶり、しぐさ、表情とコミュニケーション
第14週 挨拶の仕方と人間関係
第15週 ことわざに見る価値観

【教科書】

教員が教材を用意する。

【参考書】

Japan Almanac 2006 (朝日新聞社)

【成績の評価方法と評価項目】

テスト3回(45%)、レポート(25%)、
出席と授業における積極性(30%)